

いまの社会を、憲法通りにつくり変えよう

憲法改悪ストップ兵庫共同センター週刊ニュース

650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-10・兵高教組会館4F

電話：078-366-6855 FAX：078-366-6856

Eメール：kenpou-hgkyodo@s9.dion.ne.jp

HP：https://kenpou-hyougo.sakura.ne.jp/

憲法を活かそう

No.939

2024年

1月11日

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

たたかい続けよう

〈資料〉「安保三文書」の主な内容

安保三文書の主な内容	国家安全保障戦略	懸念・疑問 核兵器を持つ相手国に対し抑止力になるのか。領域内への撃ち合いで国民を危険にさらし、軍拡競争や偶発的衝突を誘発する恐れも 専守防衛が形骸化し、「必要最小限度」の名のもと歯止めがなくなる恐れ 情報は米国頼りで、米国の戦争に巻き込まれる恐れ 毎年巨額の国民負担増の恐れ	
	現状認識		中国の軍事動向はわが国と国際社会の深刻な懸念事項で、これまでにない最大の戦略的挑戦。北朝鮮は一層重大かつ差し迫った脅威
	目標		わが国や周辺での一方的な現状変更や有事を抑止。脅威が及ぶ場合も排除し被害を最小化
	防衛力強化		敵基地攻撃能力(反撃能力)を保有 反撃能力で日米が協力して対処。反撃能力の行使を含む日米間の運用の調整に取り組む 2027年度に防衛費と補完経費でGDP比2% 能動的サイバー防衛を導入
	国家防衛戦略		
	目標	侵攻を抑止。抑止が破れ、侵攻が発生した場合は阻止・排除 反撃能力など総合防空ミサイル防衛能力強化 集团的自衛権を行使する存立危機事態でも反撃能力は行使可能 国産の長射程ミサイルの増産体制を確立し、米国製のトマホークも早期に取得 反撃能力は日米が協力して対処 日米の相互運用性を高める取り組みを深化。偵察、ターゲティングなどの連携強化を図る	
	反撃能力など		
	一日米化		
	防衛力整備計画		
	内容	極超音速誘導弾、潜水艦発射型など必要かつ十分な長射程ミサイルを重層的に保有 常設の統合司令部を創設 宇宙領域専門部隊を新編	
	防衛費	23年度から5年間の防衛費は43兆円 財源確保は歳出改革、税制措置等を講ずる	

東京新聞 TOKYOWeb 2022年12月16日21時50分配信「軍事大国化につながる安保政策の大転換 「専守防衛」崩し敵基地攻撃能力保有 安保関連三文書改定を閣議決定」から

戦後の日本は、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓って再出発しました。岸田政権が推し進める敵基地攻撃能力の保有と大軍拡は、戦後のこの国のあり方を根底から覆します。戦争国家づくりは一刻も早く終わらせなければなりません。

政治の責任は戦争を回避するために知恵と力を尽くすことであり、憲法9条を生かした平和と外交に積極的に取り組むべきです。戦争の準備ではなく、平和の準備をする政治の実現を求めていきましょう。

物価高騰などで国民が苦しむなか、自民党の各派閥がパーティー収入の一部をキックバックし、裏金づくりをしていました。かかわったすべての国会議員の辞職、パーティー券を含む企業・団体献金の全面禁止が必要です。

巨額の献金が政策をゆがめ、与党の「税制改正大綱」は大企業優遇で、所得税減税は一回かぎり。物価対策に時給1500円への賃上げも消費税減税もなく、社会保険料引き上げや給付削減ばかりです。岸田内閣の支持率が2割を下回り、政権末期といえる状況です。国民生活そっちのけの金権腐敗の自民党政治を終わらせ、市民と野党の共同で転換させましょう。

2024年、大転換へ、力を合わせて

原発やめよ600夜行動に160人!

12月29日(金)18時、東遊園地南西端の関電ビル前で「原発やめよ600夜」の集会が行われ160人が参加しました。原発重視の関電に抗議するリリーススピーチもいろんな側面で語られました。その後、東遊園地から三宮センター街を通りマルイ前までデモ行進を行いました。若い人たちが多く参加されました。



た。

2024 元旦、石川県能登地方で大地震!! 壊滅的な被害に・・・。停止中の志賀・柏崎刈羽原発の使用済み核燃料プールから放射能水が漏れました。地震列島に原発は不要です。

◀壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内▶

※1/16(火)12:15「三宮東遊園地入り口」恒例憲法昼パレード